

校長室の窓（5月13日）

連休明けですが、五月晴れの下、よい子の二中学生は真面目に勉学に励んでいます。校長としてうれしい限りです。1年生の廊下に国語の授業で作成した掲示物がありました。「わたしはふしぎでたまらない なぜ人間は争いを やめずに平和を乱すのか・・・」と平和の大切さを飾らない言葉で表現しています。まさに、そのとおりだなと感じました。

本校の玄関前には、「広島市の被爆樹木二世：アオギリ」が植樹されています。このアオギリは、被爆に遭いながらも、焼け焦げた幹から再び芽吹き、市民に生きる勇気と希望を与えている親木から発芽したものです。写真のアオギリは、まだ小さいものですが、生徒昇降口付近にあるアオギリは、すくすくと生長し2階のベランダに届きそうな勢いです。今、世界では戦争の惨禍に苦しんでいる方々がたくさんいます。改めて、平和な世の中になることを強く願います。また、生徒にはそのために何ができるのか、学んでほしいと思います。

